

❖ 科目名 Course Title			
社会の認識 現代社会と宗教文化			
❖ 担当教員 Instructor			
岡本 亮輔			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	制限なし (遠隔) 制限なし (対面)	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words			
宗教学、観光学、キリスト教、イスラーム、神道、仏教、日本の宗教文化、聖なるものの変容、現代と伝統			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
❖ 授業概要 Course Description			
<p>宗教というとほとんどの人は自分とは関係のないものだと感じるかもしれません。しかし、現代社会では宗教は様々に形を変えながら、政治・経済・医療・教育・音楽・映画・サブカルチャー・観光などへと浸透しつつあります。たとえば「自分探し」と呼ばれる現象は、十分に宗教的と言える性質を備えています。この授業では、宗教文化を入り口に、現代のさまざまな文化現象にどのような問題が含まれるのかを考えます。</p>			
❖ 到達目標 Course Goals			
現代社会の読解に役立つ社会学・人類学・宗教学・観光学などの基礎概念を身につけることを目標とします。			
❖ 授業計画 Course Schedule			
<p>映像資料・画像資料を用いながら、講義形式で行います。 授業の最後にレスポンスシートを提出してもらい、可能な限り履修者との双方向性を高めます。</p> <p>第1回 インTRODakション 第2回 一神教の世界：異常はどのように定義されるのか 第3回 アニミズムの世界：なぜ巨石に精霊は宿るのか 第4回 祈りの宗教学：呪いのワラ人形にはなぜ釘をうつのか 第5回 カルトと予言：世界の終わりはなぜ来ないのか 第6回 アイデンティティの宗教社会学：なぜ自分を探しに海外へ行くのか 第7回 ディズニーアニメの神話学 第8回 都市空間の宗教学：なぜ行ったことのない田園風景にノスタルジーを感じるのか 第9回 消費文化の宗教学：なぜショッピング・モールで買い物をするのか 第10回 自死の社会学：なぜ「ぼんやりとした不安」にとらわれるのか 第11回 都市伝説の宗教学：なぜ怪談は怖いのか 第12回 パワースポットの社会学：聖地はどのように作られるのか 第13回 コンテンツ・ツーリズムの宗教学：なぜアニメ聖地は埼玉県に多いのか 第14回 聖地巡礼の宗教学：なぜ無神論者が巡礼をするのか 第15回 まとめ</p>			
❖ 成績評価 Grading System			
<p>平常点（出席とレスポンスシート、50%）と期末レポート（50%）によって評価します。 5回以上の欠席は失格とします。 私語には厳しく対処します。</p>			
❖ テキスト Textbooks			
聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで / 岡本亮輔：中央公論新社，2015，ISBN:9784121023063			

❖ 参考書 Reading List
❖ 準備学習 Homework
教科書と授業内で指示した文献を用いて講義内容の理解を深めて下さい。
❖ オフィスアワー Office Hour
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information
❖ 履修上の注意 Notes
❖ 備考 Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。